

生活科学部の沿革

1935(大正10)年	大阪市西区高等実修女学校 創立
1938(大正13)年	大阪市立高等西華女学校と改称
1941(昭和16)年	大阪市立西華高等女学校と改称／家政高等科を専攻科と改称
1947(昭和22)年	大阪市立女子専門学校 設置／専攻科廃止
1949(昭和24)年	学制改革により大阪市立大学家政学部 食物学、被服学、住居学、児童学、社会福祉学の各専攻を置く
1968(昭和43)年	家政学科を食物学科・被服学科・住居学科・児童学科・社会福祉学に分離増設
1975(昭和50)年	家政学部を生活科学部と改称
1990(平成2)年	5学科を3学科に再編成 (食品栄養科学科・生活環境学科・人間福祉学科)
2000(平成12)年	生活環境学科を居住環境学科に名称変更
2006(平成18)年	公立大学法人大阪市立大学に法人化

【参 考】

●お茶の水女子大学 生活科学部

1949(昭和24)年5月	お茶の水女子大学(文学部・理家政学部の2学部) 新設
1950(昭和25)年4月	文教育学部・理学部・家政学部の3学部となる
1992(平成4)年10月	生活科学部を設置、家政学部を廃止

●奈良女子大学 生活環境学部

1914(大正3)年3月	予科を廃止し、文科、理科、家事科(第一部、第二部)の3学科に改組
1949(昭和24)年5月	奈良女子大学 設置／理家政学部(数学科、物理学科、化学科、生物学科、家政学科)
1953(昭和28)年8月	理家政学部を理学部及び家政学部(食物学科、被服学科、住居保健学科)に分離
1993(平成5)年10月	家政学部を生活環境学部へ改組

生活科学研究科の沿革

1953(昭和28)年	大学院家政学研究科修士課程 設置／食物・栄養学専攻を置く
1956(昭和31)年	修士課程被服学専攻 増設
1959(昭和34)年	修士課程社会福祉学専攻 増設
1964(昭和39)年	修士課程児童学専攻 増設
1969(昭和44)年	修士課程住居学専攻 増設
1975(昭和50)年	大学院生活科学研究科博士課程 設置 (家政学研究科は1977年まで) 栄養・保健学、生活環境学、生活福祉学の各専攻を置く
1991(平成3)年	専攻名称変更、食品栄養科学専攻、生活環境学専攻、人間福祉学専攻
2000(平成12)年月	3専攻を統合・再編し、生活科学専攻 7履修コース(食・健康科学コース、居住環境学コース、総合福祉科学コース、臨床心理学コース、長寿社会食生活学コース、居住福祉工学コース、長寿社会福祉科学コース)
2006(平成18)年	公立大学法人大阪市立大学に法人化
2010(平成22)年	生活科学共同研究センター 創設
2011(平成23)年	3講座4履修コースに再編 (食・健康科学講座、居住環境学講座、総合福祉・心理臨床科学講座)／4履修コース(食・健康科学コース、居住環境学コース、総合福祉科学コース、臨床心理学コース)

【参 考】

●お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科

1954(昭和29)年	家政学部に家政学専攻科を設置
1963(昭和38)年	大学院家政学研究科(修士課程・3専攻)を設置 家政学専攻科を廃止
1976(昭和51)年	大学院人間文化研究科(博士課程・2専攻)を設置

●奈良女子大学 人間文化研究科

1954(昭和29)年	家政学専攻科 設置
1964(昭和39)年	大学院家政学研究科(修士課程) 設置 家政学専攻科 廃止
1981(昭和56)年	大学院人間文化研究科(博士課程)設置
1998(平成10)年	大学院人間文化研究科を区分制博士課程に改組／大学院修士課程の3研究科(文学研究科、理学研究科、家政学研究科)を大学院人間文化研究科博士前期課程として統合／博士後期課程に複合領域科学専攻を増設 (以下、省略)